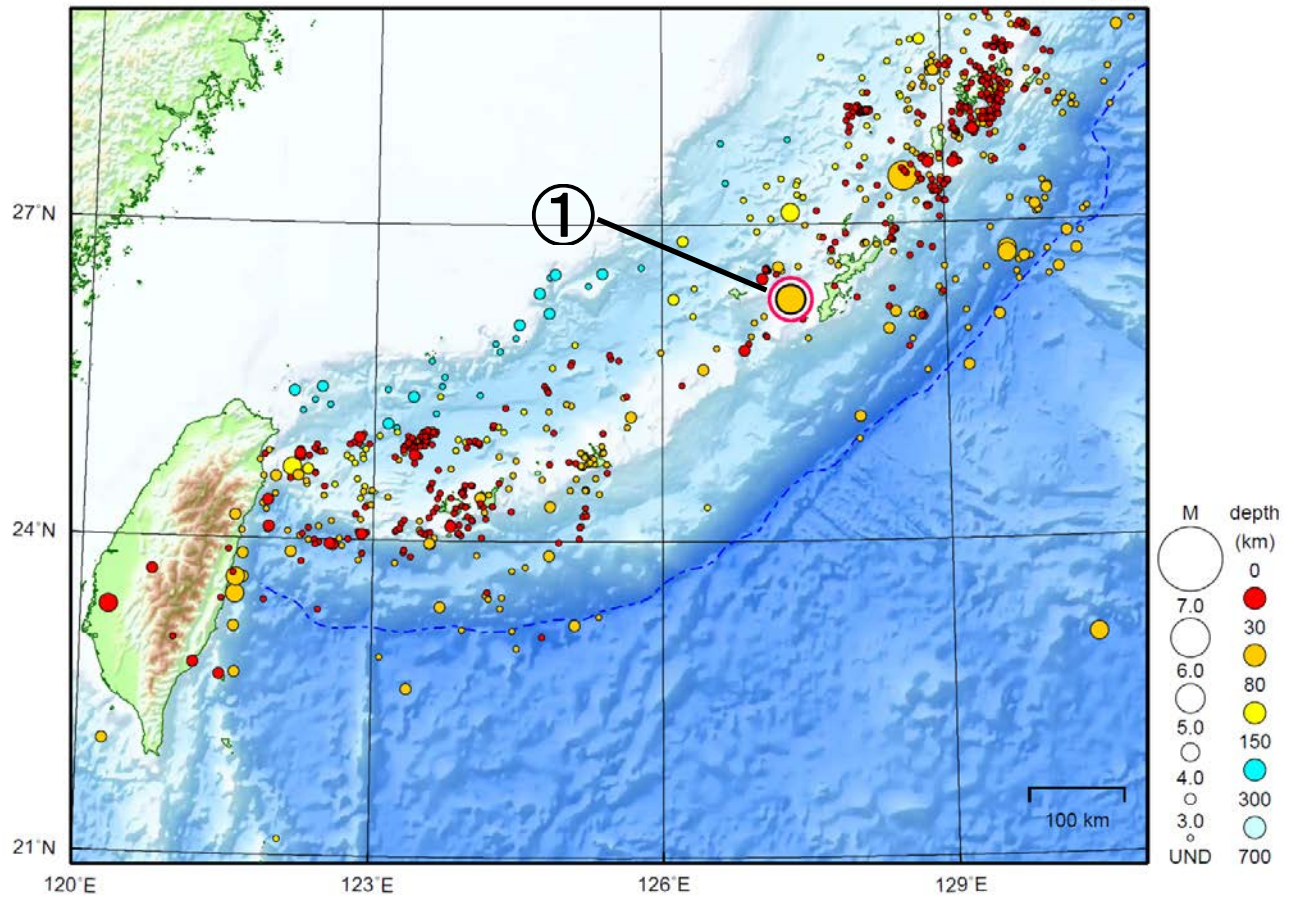


沖縄地方

2014/10/01 00:00 ~ 2014/10/31 24:00

N=973



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 10月15日に沖縄本島近海でM5.1の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

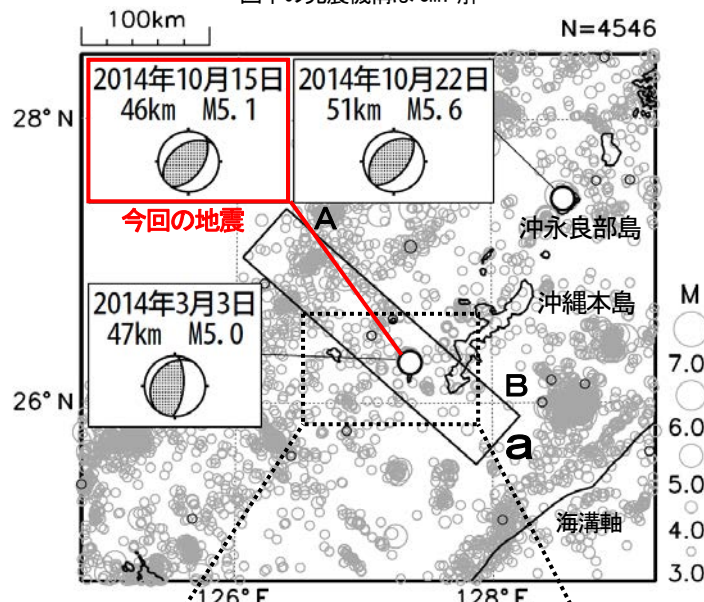
10月15日 沖縄本島近海の地震

震央分布図

(2000年7月1日～2014年10月31日、
深さ0km～150km、 $M \geq 3.0$)

2014年10月の地震を濃く表示

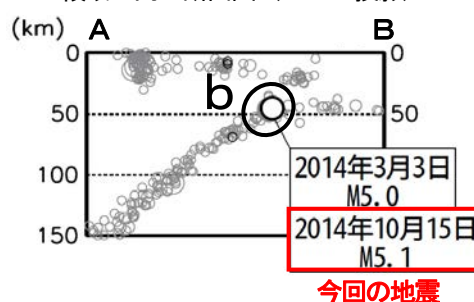
図中の発震機構はCMT解



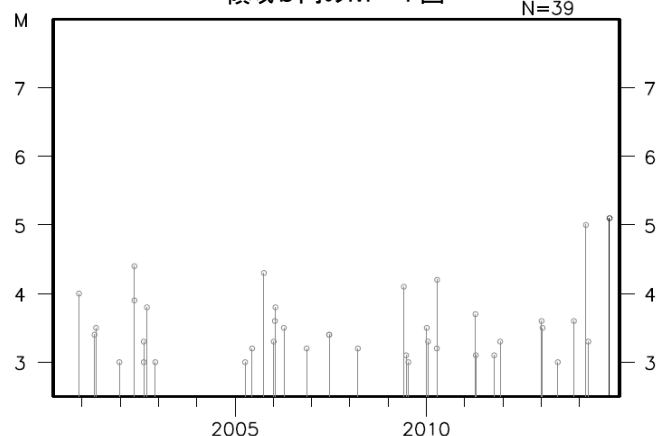
2014年10月15日07時52分に沖縄本島近海 (那覇市の西北西約35km) の深さ46kmで $M5.1$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2000年7月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2014年3月3日にも $M5.0$ の地震 (最大震度3) が発生した。

領域a内の断面図 (A-B投影)

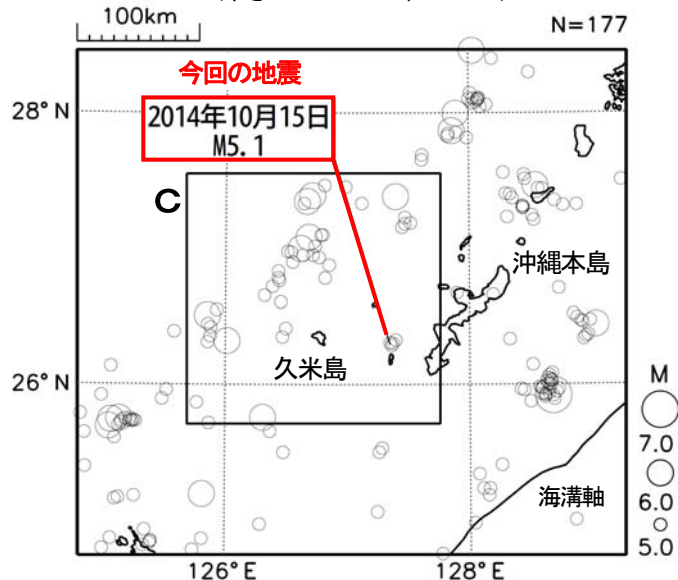


領域b内のM-T図



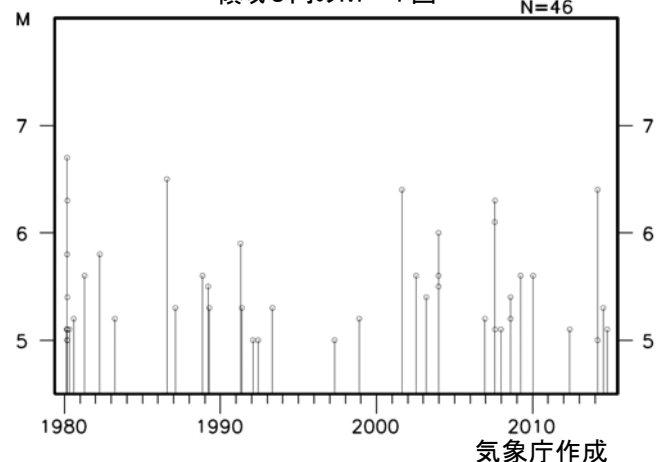
震央分布図

(1980年1月1日～2014年10月31日、
深さ0km～150km、 $M \geq 5.0$)



1980年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域c内のM-T図



気象庁作成